



慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
Keio University Shonan Fujisawa Campus

報道関係各位

2011年9月1日
慶應義塾大学 SFC 研究所

慶應義塾大学 SFC 研究所主催 第2回ケータイ未来コンテスト開催！

今年は全国の一般児童・生徒・学生も対象に！

慶應義塾大学 SFC 研究所(所在:慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス/所長:金子郁容)は、昨年に引き続き、第2回ケータイ未来コンテストを開催します。同コンテストは、スマートフォンを使って未来の情報社会をより明るく、楽しく、易しくする作品やそのアイデアを全国の小学生から大学院生までの児童・生徒・学生から募集します。募集期間は2011年9月1日～30日までの1カ月で、ケータイ未来コンテストのウェブサイト(<http://sdc.sfc.keio.ac.jp/>)から応募ができます。10月の第一次審査を経て、最終審査に進む作品は11月22日、23日の両日に東京ミッドタウンで開催される「慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2011」で紹介され、23日に同フォーラム内で最終審査会と表彰を行います。

募集部門は、先端作品部門と未来創造部門で、それぞれから最優秀賞(賞金10万円と賞品)と審査員特別賞(賞品)が各1作品ずつ選ばれます。先端作品部門は、ソフトウェアとポスターで応募しますが、未来創造部門は、アイデアを記述したポスターでの応募のため、比較的年齢の低い児童でも応募可能になっています。

ケータイ未来コンテスト委員長である徳田英幸 慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科委員長は、「生まれた時からインターネットやモバイル機器と触れ合い、育ってきたデジタル・ネイティブと言われる世代の柔軟で無限の順応性をもった若い力で未来の情報社会を創造して頂きたい。このコンテストをおこなうことは、情報社会を先導してきたSFCの情報社会に対する務めであると感じています。若い方々の潜在的にもっているクリエイティビティを、是非、このコンテストで大いに発揮して頂ければと思っています。」と本コンテストの開催目的と一般の児童・生徒・学生からの多くの応募への期待を語っています。

なお、今回のコンテストはサービス開発コンテストを通じた復興支援プロジェクト「パワーアップス・ジャパン」<http://ja-jp.facebook.com/papsjp>に参画しているため、被災地や復興活動を支援するアイデアや作品にも期待が集まっています。

ケータイ未来コンテスト 2011

応募資格 : 児童・生徒・学生(小・中・高校生、専門学校生、大学・大学院生など)

募集部門 : 先端作品部門、未来創造部門

募集期間 : 2011年9月1日(木)～30日(金)

応募方法 : ケータイ未来コンテストウェブサイトよりご応募ください。(<http://sdc.sfc.keio.ac.jp/>)

協賛企業 : KDDI株式会社、ソフトバンクモバイル株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

SFC Open Research Forum 2011 「学問ノシンカ」

会 期 : 2011年11月22日(火)、23日(水・祝) 10:00～19:30 入場無料

会 場 : 東京ミッドタウン ホール&カンファレンス

公式ウェブサイト : <http://orf.sfc.keio.ac.jp/>

主 催 : 慶應義塾大学 SFC 研究所

本件に関する報道関係からのお問い合わせ

慶應義塾大学 SFC 研究所ケータイ未来コンテスト事務局 担当 : 後藤・谷古宇

TEL: 0466-49-3436 e-mail: sdc@sfc.keio.ac.jp

《前回の入賞作品紹介》

HelloArrow

らくらく待合せアプリ **HelloArrow**

待合せ相手までの距離
待合せ相手までの方向
振動による誘導の補助

HelloArrowとは、
画面に表示される、相手の矢印と数字に従って進むだけで、待合せ相手と出会うことのできるAndroidアプリケーションです。
ログインなどの手間はなく、互いに決められた自分と相手のニックネームを入力するだけで誘導が開始されます。
GPSの使用できない屋内にも対応しており、また地図にて互いの位置を確認できます。

作品コンセプト
待合せに携帯電話が欠かせなくなりました。場所を決めて相手を待ち続ける必要はなくなり、連絡を受けるまで自由に過ごしたり、後から相手を追いつかせたりできるようになりました。しかし、それでも必ずしもスムーズに出会える訳ではありません。
上のイメージ図のように、互いの状況が分からない状態で通話のみで相手を探したことは思いのほか困難です。また、こうした状態で素早く的確に地図を読むことは、土地勘や方向感覚に自信のある人にも難しいかもしれません。HelloArrow はより簡単に円滑な待合せを実現します。

評価
実験の結果から、HelloArrow の用いる方向と距離による誘導は、通話による誘導と比べ、方向感覚に自信のない人や女性に優しく、また様々な形状の街でもスムーズに使用できることがわかりました。詳しくは以下を参照ください。
元良龍太郎、橋口真人、原村慶彦、HelloArrow : コントラストインターフェイスを用いた待合せシステムの実験と評価、HGS2016, September 2016.
元良龍太郎、資料調査、円滑な待合せを実現のためのコンパス・インタフェースを用いた待合せシステムの構築と評価、インタラクティブデザイン2016, March 2016.

政策・メディア研究科1年 元良 龍太郎 mtrms@kai.ac.jp

携帯しない、ケータイ。
共有移動通信端末 **MoBird**

海で
一人旅で
デートで
スタジアムで

ケータイは鳥になる。蝶に、花、魚に。
メッシュネットワーク型・共有移動通信端末

ケータイから自由になる。
繋げたら iPhone とガラケー、ノートパソコンにカメラを持っていた...なんてことありませんか？ 常に twitter をチェックして、電池残量を見る。もうこんな生活はサヨナラ！ そのらじゅうで飛んだり生きたりしている共有端末が、あなたをつなぐ通信端末です。ジェスチャーで飛んでいる端末を呼べば、個人認証を行ってすぐにあなたの設定に。
共有端末が移動通信
キャリアが携帯端末を売って儲けるのはもう難しくなり、ハードウェアではなく経験というサービスを受ける時代が訪れると考えられています。端末は全て共有になり、

全てがネットワークに常時接続し利用者が使用できる状態になります。ユーザは繋げたいサービスによって使用料を支払います。
自動制御
端末ひとつひとつがホッピングを自動制御で行いユーザの元へ向かいます。
メッシュネットワーク
各ノード（携帯端末）はマルチホップで繋がっており、電話をかける時相手の位置情報を取得し、一番近いノードまでパケットを送ります。
動作認識
ジェスチャーなどの動作認識でノードを呼び寄せます。

導入 / 普及
導入にあたり、まずテーマパーク内の使用実験を行います。テーマパーク内に端末が飛んだり生えたりして、ユーザは必要に応じて端末を呼び寄せてサービスを受けます。パーク内の盛り上がりを知り、イベントを提示することも可能です。
またアクセサリとして音楽を聞くときのヘッドホン型うさぎ耳なども提供します。

メッシュネットワーク
自動制御、位置情報取得

先端作品部門 最優秀作品

「HelloArrow」

政策・メディア研究科 1年 元良龍太郎君

未来創造部門 最優秀作品

「MoBird」

総合政策学部 4年 富田千智君



審査員特別賞

「空とぶケータイ」

幼稚園 1年 小林如晏君